

326
94

森林植物食用途調查書



始



森林植物
特殊用途
調查書

農商務省山林局

326-94



大正四年六月

一本書ハ各大林區署及府縣農會ノ調査ニ係ル食用並特殊ノ用途ニ供セラル、森林植物(菌蕈ヲ除ク)ヲ蒐集シタルモノニシテ林産物利用上參考ニ資センカ爲之ヲ印刷ニ附セリ

山
林
局

口
寄贈本



○正 誤 表

特殊用途之部	食用之部	同	同	同	同	同
二十七頁	十九頁	十四頁	十三頁	同	同	同
すゞめのひへ	きつこうとく	すつき	あはび	あけび	あけび	あけび
だいさんちく	かたくり	ぬのき	ときあけび	ときあけび	ときあけび	ときあけび
つるうめもどき	くわんぞ	すのき	むべ	むべ	むべ	むべ
らめもどき	じゆうにひとへ	さつき	さつき	さつき	さつき	さつき
まかんばか	ひよどりじやう	きつこうちく	かたくり	かたくり	かたくり	かたくり
やまごばう	やまごばう	かたくり	くわんぞ	くわんぞ	くわんぞ	くわんぞ
ひよどりじやう	ひよどりじやう	きつこうちく	じゆうにひとへ	じゆうにひとへ	じゆうにひとへ	じゆうにひとへ
やまごばう	やまごばう	さつき	あけび	あけび	あけび	あけび
まかんば	まかんば	さつき	ときあけび	ときあけび	ときあけび	ときあけび
むめもどき	むめもどき	さつき	むべ	むべ	むべ	むべ
つるうめもどき	つるうめもどき	さつき	さつき	さつき	さつき	さつき
だいさんちく	だいさんちく	さつき	さつき	さつき	さつき	さつき
すゞめのひへ	すゞめのひへ	さつき	さつき	さつき	さつき	さつき

第壹編 食用之部

目次

第一章	一 木本之部	一頁
	一 花	一頁
	二 實	三頁
	三 葉	一頁
	四 新芽	一五頁
	五 皮	一七頁
	六 幹	一七頁
	七 根	一七頁
	二 竹之部	
	一 筍	一八頁
	二 實	一九頁
第二章	一 草本之部	

一 花	二〇頁
二 子實	二一頁
三 葉	二一頁
四 葉、葉柄	二五頁
五 莖	二五頁
六 葉、莖	二五頁
七 根	二六頁
八 葉、根	二八頁
九 葉、莖、根	二九頁
二 羊齒、地衣之部	
一 芽軸	三〇頁
二 嫩芽	三〇頁
三 根	三〇頁
四 地衣	三〇頁

和名索引

一木本之部

種別	名稱	方言	科名	用法並ニ調製法ノ概要	產地
一花	あかまつ かはやなぎ		松科 楊柳科	粉碎シテ餅粉トス 團子ニ混シテ食ス	長崎(五島地方) 廣島
	こぶし やまつぶし		木蘭科 石南科	茹テ、酢味噌トシ又ハ醬ヲ煮テ食ス 小兒生ノ儘食ス 鹽漬トシテ食ス	山形、新潟 東北、關東、山梨、中國 岐阜、愛知、畿内、山陰、山陽
	つじ みやまつじ さつき		同 同 同	生ノ儘食ス 生ノ儘又ハ鹽漬トシテ食ス 生ノ儘又ハ酢飯トシテ食ス	和歌山 大分
	やまざくら	さくら	薔薇科	鮮ノ上置キトス 充分開カサルモノヲ煮テ鹽ト水ト同一割合ヲ以テ漬ケ置キ櫻湯用ニ供ス 茹テ、あへものトス	廣島 全國 東北
	やへざくら やまぶき	やいざくら(新潟)	同 同	鹽漬トシ櫻湯用ニ供ス 同	岩手、埼玉、新潟 大分
	のいばら にんどう	にんとうかづら(島根)	忍冬科	煮沸シテあへものトス 小兒花ノ密ヲ吸フ	熊本 岐阜、愛知、滋賀、和歌山、畿内、山陰、山陽
	ぬるせうて	ふしのき	芸香科 漆樹科	葉ト共ニ煮詰メ餡、砂糖、醬油煮トシ副食物トス 液汁ヲ搾リ酢ノ代用トス	京都、奈良 和歌山

(花の部)



種別	名	方	言	科	用法並ニ調製法ノ概要	産地
ふ	ち			荳科	茹テ、酢物トシ又ハ味ヲ付ケテ食ス 鹽漬トシ隨時湯ニ立テ、飲ム 湯掻キ酢味噌ニテあへものトシ調理ス 搾汁ヲ餅ニ混シテ食ス 酢漬トシテ食ス	岩手 滋賀、廣島 青森、秋田、山形、埼玉 滋賀、京都、廣島、高知 熊本、大分 和歌山
く	ちなし			茜草科	酢漬トシテ食ス 生ノ儘小兒好シテ之ヲ食ス 乾シテ砂糖漬トシ茶受ニ供ス 茹テ、食シ又鹽漬トス 生ノ儘食シ又種々ノ料理ニ供ス 茹テ、あへものトス	和歌山
あ	おにぐるみ			胡桃科	稀ニ三杯酢トシテ食ス	青森
う	め			薔薇科	鹽漬トシ櫻湯用ニ供ス 萼ヲ短ク切り梅干シノ肉ヲ摺鉢ニテ摺リ 平ニセシモノ、上ニ並ヘ盡ノ中ニ密閉シ 置キテ隨時食ス 生ノ儘小兒之ヲ食ス 生ノ儘汁ニ入レ其香ヲ賞ス 雑炊ニシテ食ス	岩手 (畿内、山陰、山陽、北 陸、和歌山) 青森
ま	るめ			同	生ノ儘汁ニ入レ其香ヲ賞ス	廣島
ゆ	め			芸香科	白花ヲ茹テ、團子トス	兵庫
む	け			錦葵科	雑炊ニシテ食ス	新潟
ほ	た			毛茛科	白花ヲ茹テ、團子トス	宮城

種別	名	方	言	科	用法並ニ調製法ノ概要	産地
たい	さんぼく			木蘭科	鹽漬トシテ湯ニ立テ、飲ム 乾シテ茶ノ代用トス	新潟 和歌山
あ	かまつ			松科	炒リテ食用トス 生又炒リテ砂糖ヲ掛ケテ菓子ヲ製ス 生ノ儘食ス 搾リテ食用油ヲ採ル 土中ニ埋メ外肉ヲ去リ灰汁ニ漬ケ乾燥シ テ食ス 炒リテ砂糖ヲ掛ケ菓子ヲ製ス 漉リテ去リ餅トス	新潟 青森 徳島 (畿内、山陰、山陽、北 陸、長崎、熊本、 徳内、山陰、山陽、北 陸) 同
て	せんまつ			同	炒リテ食用トス	青森
も	み			同	搾リテ食用油ヲ採ル	徳島
か	や			一位科	土中ニ埋メ外肉ヲ去リ灰汁ニ漬ケ乾燥シ テ食ス 炒リテ砂糖ヲ掛ケ菓子ヲ製ス 漉リテ去リ餅トス	(畿内、山陰、山陽、北 陸、長崎、熊本、 徳内、山陰、山陽、北 陸) 同
い	ぬがや			同	炒リテ食用トス	關西 鳥根、廣島、富山、石川 静岡、和歌山、大分、長 崎、熊本、宮崎 鳥根、廣島、富山、石川 廣島、高知、佐賀、長崎 静岡、三重、宮崎、鹿兒島
い	ぬまき			同	生ノ儘食ス 搾リテ食用油ヲ採ル	廣島、高知、佐賀、長崎 静岡、三重、宮崎、鹿兒島
そ	ち			同	搾リテ食用油ヲ採ル	同
い	ち			蘇鐵科	紅熟シタル假種皮ヲ食ス味甘シ 粉末トシ團子トス	青森、秋田、新潟、和 歌山
い	て			公孫樹科	煎粉ヲ採リ米ニ混シ粥トス 粉末ヲ味噌醗酵ノ原料トス 炒リ又ハ煮テ菓子又ハ餅ヲ製ス (俗ニギンナン餅ト云フ) 煮テ豆腐ヲ製ス	沖繩 東北、埼玉、栃木、岐阜 滋賀、和歌山、畿内、山 陰、山陽、四國、九州 熊本
く	り			殼斗科	蒸シ又ハ焼キテ料理其他種々ノ用途ニ供 ス	全國

(實の部)

三

二

種別	名稱	方言	科名	用法並ニ調製法ノ概要	産地
	ぶな	ぶなしひ(鳥取) ぶなくり(青森) ぶなぐり(宮城)	殼斗科	カチ栗ヲ製ス 炒リテ食ス 搾リテ食用又ハ燈火用油ヲ採ル 煮テ餅トナス 炒リテ食ス	山梨 東北、中國、關西、鳥取 關西、中國 石川、熊本、大分 東北 福岡、宮城、鹿兒島
	いぬぶな	くろぶな まてがし(鹿兒島) しいぎ(沖繩)	同	燒キ又茹テ、其仁ヲ食ス 飯ニ炊キテ用ヅ	關東、中國、和歌山 岩手、福島、中國、和歌山、京都、鳥根
	まてがし	ほろそ(鳥取) どんぐり(中國) おしぼなら(熊本)	同	干シ皮ヲ去リ數日水ニ浸シ滋味ヲ去リ濃粉ヲ加ヘテ團子トス 果皮ヲ去リ灰汁ニテ煮沸シ晒ラシ粉末トシテ米餅ニ混シ食ス 果皮ヲ去リ灰汁ニテ煮沸シ晒ラシ春キテ粉末トシ探リ濃粉ヲ食ス 灰汁ニテ煮沸シ晒ラシ更ニ煮テ滋味ヲ去リ乾燥シ粉末トシ濃粉ヲ採リ食ス其濃粉ハ珈琲ニ代用スルコトアリ 乾燥シ粉末トシ蒸シテ餅團子トス 燒テ食スルコトアリ	東北、中國、新潟、長野、山梨、静岡、岩手、福島、新潟、山梨、熊本
	かぬし	(數種アリ其何レナルカ不明) かし(中國)	同	煮テ流水ニ浸シ滋味ヲ去リ團子トス (主トシテ饅頭ノ際用ウ)	岩手、新潟 鳥根、徳島、大分、佐賀、長崎
	か		同	滋味ヲ去リ粉砕シテ濃粉ヲ採リ食ス	中國、和歌山、四國、宮崎、鹿兒島
	しらがし		同	生ノ儘又ハ炒リテ食ス	京都、廣島、大分
	しりふかがし		同	濃厚ナル灰汁ニテ「あく」出ラシ餅又ハ飯ニ混シテ食ス 炒リテ用井又ハ搗キ碎キ水ニ晒ラシ干シテ食ス	和歌山、宮崎、鹿兒島
	あらかがし		同		同
	あか		同		同

種別	名稱	方言	科名	用法並ニ調製法ノ概要	産地
	いちひがし	いつち(高知) いち(鹿兒島)	同	炒リ又ハ搗キ碎キテ食ス 濃厚ナル灰汁ニテ「あく」出ラシ餅又ハ飯ニ混シテ食ス 生ノ儘乾燥干トシ貯ヘ又ハ「アルコール」ニ浸シ熱セルヲ食ス味佳ナリ	高知、九州 和歌山、香川、高知 静岡、福井、石川、中國、關内、四國、九州
	うばめがし	むくのき(中國) むかき(京都) むき(鹿兒島)	同	生ノ儘食ス	東北、北陸、關内、山陰、山陽、和歌山、四國、九州
	むくのき	よのみ(京都) くはいち(廣島)	桑科	生ノ儘食ス 黒熱セルモノ一升ニ對シ三升ノ良酒ト混シ一ヶ月ヲ經テ濾シ水砂糖二三斤ヲ入レ攪拌シ桑椹酒ヲ製ス 效用「くは」ニ同シ	中國
	えのき		同	生ノ儘又飯ニ炊キテ食ス	秋田、岐阜、愛知、滋賀、和歌山、北陸、山陰、山陽、長崎、大分、鳥根
	いたびかづら	つるいちぢく(鳥根) いたび(長崎) かたび(宮崎) いたび(佐賀) はいづく(大分)	同	生ノ儘食ス 「シヤム」ヲ製ス	静岡、鳥根、九州
	いたび		同	生ノ儘食ス	宮崎、鹿兒島
	いぬび		同	生ノ儘食ス味甘シ又砂糖漬トス	宮崎、鹿兒島、沖繩
	つるかうぞ	あまづら(沖繩)	同	生ノ儘又ハ燒キテ料理用トス仁ヲ搾リテ食用油ヲ採ル味付トス	本州、九州
	くはくはつがゆ	おぐるみ(熊本) ほんぐるみ(和歌山) めぐるみ(熊本) ぐるみ(鳥取) くわしぐるみ	胡桃科	生ノ儘又ハ燒キテ料理用トス仁ヲ搾リテ食用油ヲ採ル	本州、熊本
	おにぐるみ	あけぶ(九州) あくび(青森) ぐべ(長崎)	木通科	摺潰シテ食シ又菓子原料トス	山梨
	ひめぐるみ		同	熟果ヲ食ス味佳ナリ	東北、長野、岐阜、愛知、静岡、山梨、山陽、北陸、四國、九州
	てうちぐるみ		同	若キモノハ煮テ食ス	和歌山、静岡、三重、岐阜、愛知、滋賀、山陽、山陰、山北、山陽、山陰、山陽、山陰、山陽
	あけ		同	生ノ儘食ス味佳ナリ	陽、山陽、山陰、山陽、山陰、山陽
	ときはあけ	むべ(關西)	同		
	みつばあけ	やまあび(鳥根) てんでんこぼし(静岡)	同		

種別	名稱	方言	科名	用法並ニ調製法ノ概要	産地
	なつぐみ	やまぐみ(青森) ごみ(奈良) ぐいみ(兵庫) ぐいび(岡山)	胡頹子科	生ノ儘食ス味酸甘ニシテ微澁ヲ帶ア なつぐみニ同シ 小兒生ノ儘食ス なつぐみニ同シ	本州、徳島、九州、沖縄 本州、四國、宮崎、鹿 兒島、沖縄 宮城
	あきぐみ	あきぐいび(廣島) あさどり(岡山) かはらぐみ(宮城)	同	同	本州(東北ヲ除ク)九州 本州(東北ヲ除ク)佐 賀、宮崎、鹿兒島、沖縄 宮崎
	なわしろぐみ	あぶらぐみ(三重) のしろぐみ(長崎)	同	同	本州(東北ヲ除ク)九州 本州(東北ヲ除ク)佐 賀、宮崎、鹿兒島、沖縄 宮崎
	つるぐみ	おぼばつるぐみ やまも(長崎) やまむむ(沖繩)	楊梅科	生ノ儘食ス 生ノ儘又ハ鹽漬、砂糖漬トシテ食ス 果酒ヲ製ス	靜岡、岐阜、滋賀、和 歌山、畿内、北陸 山陰、山陽、四國、九 州、沖縄
	やまばやし	いつき(岐阜) やまぐは(青森) やまぐみ(岩手)	山菜黄科	生ノ儘食ス味甘シ 生ノ儘食ス味甘酸ナリ	東北、關東、新潟、長 野、山梨、靜岡
	さんしゆゆ	ばりばりのき	檀香料	生ノ儘食ス 生ノ儘食ス味佳ナリ	東北、關東、新潟、長 野、山梨、靜岡
	つくばねのき		木蘭科	熟果ヲ生ノ儘又煮テ食ス 生ノ儘食ス	秋田、新潟
	まつぶさ		木犀科	生ノ儘食ス味佳ナリ	東北、關東、新潟、長 野、山梨、靜岡
	だんころばい		虎耳草科	同	秋田、新潟
	いぼたのき		同	同	秋田、新潟
	すぐり		同	同	秋田、新潟
	こまがたけすぐり		同	同	秋田、新潟
	やしやびしやく		同	同	秋田、新潟

種別	名稱	方言	科名	用法並ニ調製法ノ概要	産地
	やまさくら	さくらんぼ(中國)	薔薇科	生ノ儘又鹽漬トシテ食ス酒ヲ釀スルコト アリ 生ノ儘食ス	東北、關東、長野、新 潟、京都、廣島、九州
	ひがんざくら		同	同	東北
	いぬざくら		同	同	東北
	みやまさくら		同	同	東北
	うはみずざくら	こなし(岐阜) いぬなし(岐阜) いはなし(大分)	同	生ノ儘食シ又ハ煮テ軟ニシ又ハ鹽漬トシ 食ス 生ノ儘食ス味酸甘ナリ	本州、熊本、長崎、大 分、宮崎 青森、秋田、關東、新 潟、山梨、靜岡、大分
	あづきなし		同	同	青森、秋田、山梨、新潟 石川、富山、岐阜、京都 奈良、高知、大分
	はまなす	こりんご(大分)	同	生ノ儘食ス 生ノ儘食シ又酢ヲ製ス	青森、秋田、新潟、靜 岡、京都、中國、熊本
	ずみ	さなし	同	熟果ヲ食ス味佳ナリ	青森、中國、高知
	さんざし	うしぶたい(京都) まめなし(青森)	同	生ノ儘食ス 生ノ儘食シ又ハ「ジヤム」ヲ作ル味頗ル佳 ナリ	青森、山梨、熊本、鹿兒島 全國
	うしろのき	のかくばら(青森)	同	同	愛知、岐阜、滋賀、和歌 山、畿内、福井、岡山
	のいばら	もみちいちご(山梨)	同	同	山形
	きいちご	さるいちご	同	生ノ儘食シ又ハ酒ヲ作ル	畿内、中國、福井、岐 阜、愛知、靜岡、鳥根
	かぢいちご	あづきいちご(鳥根)	同	熟果ヲ其儘食ス	東北、愛媛、佐賀、熊 本、鳥根
	えびがらいちご	さがりいちご(鳥根)	同	生ノ儘食ス	富山
	にかいちご	うしいちご(長崎)	同	同	東北、靜岡、長崎
	くまいちご	いちご	同	同	長崎
	さんざしばいちご		同	同	
	なわしろいちご		同	同	
	ほうろくいちご		同	同	

(實の部)

種別	名稱	方言	科名	用法並ニ調製法ノ概要	産地
	ふゆいちご	いつひ(沖繩)	薔薇科	生ノ儘食ス	富山、滋賀、徳島、長崎
	くさいちご		同	同	東北、岐阜、徳島、山陰
	ばらいちご	しどみ(東北) ちなし(關東) ぎいま(沖繩)	同	生ノ儘食ス味甘ク微酸ヲ有ス 小兒生ノ儘食ス味酸シ	山陽、北陸、徳島、大分 長崎、宮崎、鹿兒島、沖繩 秋田、佐賀
	くさぼけ		同	同	東北、關東、長野、新潟
	しやんしやんぼ	つりがねつじ	石南科	生ノ儘食ス	京都、廣島、島根、徳島
	いはつじ		同	同	青森、長野、新潟
	こけも	やまなすび(岡山) あさなし(廣島)	同	生ノ儘又ハ鹽漬トシテ食ス 生ノ儘小兒好シテ食ス又煮テ用キ味酸甘ニシテ美ナリ	滋賀、京都、奈良、岡山、廣島
	なつはぜ		同	同	岐阜、富山、石川、廣島
	なつなし		同	同	同
	あきなし		同	生ノ儘食シ又ハ砂糖ニ水ヲ加ヘ「スープ」ヲ作ル又菓子ヲ製ス味佳ナリ	京都、富山、廣島
	うすのき		同	生ノ儘食ス	石川、富山、滋賀
	おほばすのき	あたまはげ(北陸) ほそばすのき(同)	同	同	同
	すのき	さんしゆ(鹿兒島) ふぢまめ(兵庫) さるかけい(熊本)	同	同	同
	さんせう		芸香科	砂糖漬トシ、又鹽漬トス或ハ乾カシ粉砕シテ山椒餅ヲ作ル主トシテ香料ニ供ス	全國
	ふぢ		荳科	燒キテ食ス味果ニ似テ頗ル美ナリ	東北、關西、兵庫、北陸
	さるとりいばら		百合科	生ノ儘食ス	長野、高知、九州
	しらき		大戟科	炒リテ食シ又食用油ヲ搾ル	島根、熊本
	がんこふらん		岩高蘭科	熟果ハ濃紫色ヲ呈シ味甘ク高山ニ登ルモノ好シテ之ヲ食ス	富山、石川
	いたやかへて		槭樹科	生ノ儘又ハ炒リテ食ス	青森

種別	名稱	方言	科名	用法並ニ調製法ノ概要	産地
	とちのき		七葉樹科	滋味ヲ去リ澱粉ヲ採リ粥、餅、團子ヲ製ス又燒キテ食ス	本州
	くまやなぎ	くまぶぢ(秋田) けんぶなし(青森) てんぼなし(飛騨) こんぼなし(廣島)	鼠李科	果柄ハ味梨ノ如シ、一二ヶ月蔭干シトシ小兒好シテ之ヲ食ス	青森、山梨
	けんぼなし		同	同	東北、新潟、静岡、山陰
	やまぶたう	かぶ(岡山) いぬぶた(熊本) えべつろ(静岡) かねぶ(山形) えびかづら(鹿兒島) ふしのき(中國)	葡萄科	生ノ儘食スレハ味酸甘ナリ砂糖漬、鹽漬トス又煮テ食ス	山陽、北陸、四國
	えびづる		同	生ノ儘食スレハ味酸甘ナリ砂糖漬、鹽漬トス又酒ヲ醸造ス	三重、關東、山梨、滋賀
	ぬるで		漆樹科	熟果ヨリ酢ヲ搾ル	青森、秋田、山形、愛知
	あきざり		梧桐科	炒リテ食ス	宮崎、大分、鹿兒島
	またゝび	なつうめ(福井) またゝぶ(福岡)	獼猴桃科	未熟ノモノヲ鹽漬トシ酒燻トナス味山葵ニ似タリ又生食ス	埼玉
	しらくちづる	こくわ(東北) やぶなし(秋田) しらくち(和歌山) こくわかづら(和歌山)	同	梅ト共ニ漬ケテ食ス 味喰漬トシテ食ス	青森、秋田、愛知、岐阜
	つばき	かたし(長崎)	同	生ノ儘又砂糖漬トシテ食ス	福岡、熊本、宮崎
	さゝんか		同	同	和歌山
	はないかだ	つきてのき(宮崎)	山茶科	搾リタル油、椿油又ハ木ノ實油ト稱シ食用トス	東北、關東、新潟、島根
	やまがき	しぶがき(關西)	同	搾リテ食用油ヲ搾ル	静岡、關西、北陸、福岡
	まめがき	しなのがき(同)	同	生ノ儘食ス	静岡、佐賀、長崎
	くちなし		同	生ノ儘又ハ乾柿トシテ食ス	岐阜、富山、石川、山陰
	ろくひすかぐら	あつぎぐみ こむめ(京都) やまゆすら(岡山)	同	生ノ儘又ハ乾柿トシテ食ス	山陰、山陽、高知、福岡
			同	節句餅ノ黄色染料トス	佐賀、長崎、鹿兒島
			同	生ノ儘食ス	静岡
			同	生ノ儘食ス	岩手、關西、岡山、福岡

種別	名稱	方言	科名	用法並ニ調製法ノ概要	産地
	あきのれ		楡科	嫩葉ヲ燥熱シ煮テ食ス 嫩葉ヲ浸物、あへものトシ又煮付ケトシテ食ス	宮崎 埼玉、大分
	えのしき	(數種アリ其何レナルカ不明)	同	煮テ食ス	高知
	か		桑科	煮又天鈹種トシテ食ス	青森、山梨、熊本
	くま		同	湯搦キテ食ス又炒リテ茶ノ代用品トス	鳥根
	やまぐは		同	湯搦キテ食ス	長崎、佐賀、大分
	いぬび		樟科	乾燥シ粉末トナシ湯ヲ注キテ食ス	福岡、大分
	た		同	其粘液ヲ以テ蕎麥粉ヲ練リテ食ス	廣島
	やまかうは		同	湯ニテ煮沸シ乾シ粉末トナシ團子、餅ニ混シテ食ス	大分
	くろも		同	生葉ノ汁ヲ吸フモノアリ	同
	にくけい		虎耳草科	煙草ノ代用品トス	静岡
	たまあぢさい	やまたばこ	同	蒸シ青汁ヲ去リ乾シ煎シテ茶ノ代用品トス又其儘佛前ニ供フ	石川、岐阜、富山、静岡、京都、廣島、和歌山、滋賀、佐賀、熊本、鳥根
	あまぢさい	よめなのき(宮崎) あぢさい(宮崎)	同	茹テ、苦味ヲ去リ浸物トシ又煮テ食ス	和歌山、宮崎、廣島
	こあぢさい	うりな	同	浸物トシ又飯ニ混シテ食ス	廣島、宮崎
	やはあぢさい		同	同	廣島
	のりうつき		同	乾シテ米ト混シ又生ノ儘食ス	新潟
	うつぎ		同	煮沸シテあへものトシテ食ス	熊本
	のいばら		薔薇科	嫩葉ヲ茶ノ代用品トス	岩手
	ふゆいちこ		同	乾燥シテ煙草ノ代用品トス	佐賀

種別	名稱	方言	科名	用法並ニ調製法ノ概要	産地
	さいかち		莖科	嫩葉ヲ煮テ食ス	埼玉、京都
	ねむのき		同	實ト共ニ蒸シ乾シテ茶ノ代用品トス	中國
	はぢぎ		同	干シ炒リテ茶ノ代用品トス嫩葉ヲ漬物、あへもの等トシテ食ス	新潟、廣島、大分
	ふぢ		同	藤茶ト稱シ茶ノ代用品トス又嫩葉ヲ灰汁ニテ煮水ニテ洗ヒ蔬菜トナス又米麥ニ混シ用フ	千葉、關西、埼玉、福岡、大分、徳島
	あはび		木通科	蒸シ乾シテ茶ノ代用品トス	秋田、山形、新潟、和歌山、兵庫、三重、京都
	ときあけび	ちべ	同	煮テ食シ又鹽漬トシテ茶ノ代用品トス	京都
	みつばあけび		同	蒸シテ後乾シ茶ノ代用品トス	鳥根
	さんせう	きのめ	芸香科	嫩葉ヲ調理シテ食物ニ風味ヲ添ユルニ用フ	全國
	ゆづりは		大戟科	煮テ食ス	和歌山
	ごんずい	ごんじい(大分)	省沽油科	同	大分、熊本、鹿兒島
	まさき		衛矛科	炒リ粉末トシテ食ス	埼玉
	もみぢ		械科	生ノ儘食ス	青森
	うりはだかへて	うりき(高知)	同	煮テ食ス	高知
	からこぎかへて		同	枇杷葉湯トシテ飲用ス	佐賀
	のぶだう	えびづる(新潟)	同	枇杷葉ヲ乾シ粉末トシ草餅ニ混シ食ス	宮城、新潟
	またゝび		獼猴桃科	嫩葉ヲ燥熱シ水ニ浸シ飯ニ加へ又ハ煮テ嫩葉食料トナシ又茹テ、あへものトス	山梨、新潟、三重、和歌山、鳥根
	なつぐみ		胡類子科	乾シ炒リテ茶ノ代用品トス	岡山、廣島、大分
	はりぎり	せん(京都)	五加科	嫩葉ヲ湯搦キテ食ス	茨城、京都
	たらのき	たらんぼう(岐阜)	同	嫩葉ヲ燥熱シテ食ス山民ハ湯煮シテ乾カシ他日ノ糧トス	富山、三重、新潟、岐阜、鳥根、徳島
	ひめうこぎ	をんぎ(廣島)	同	同	中國

(葉の部)

種別	名稱	方言	科名	用法並ニ調製法ノ概要	産地
	やまざくら はるにれ えのき りやうぶ にはとこ またとび かこび かひし しひし うるし はざのき やまうるし つくばねのき さんせう みつばあけび あけび なつぐみ みつばうつき いたやかへて	くこのめ (數種アリ其何 レナルヤ不明) うるしのもえ あけびのもえ(東北) あさどり こめこめ(東北)	蔷薇科 楡科 同 令法科 忍冬科 獼猴桃科 茄科 殼斗科 同 漆樹科 同 同 檀香科 芸香科 木通科 胡椒子科 省沽油科 楓樹科	鹽漬トシテ食ス 數芽ヲ燻熱シテ食ス 茹テ、水ニ漬ラシ蔬菜トナス 浸物、あへものトシ又煮テ副食物トス 浸物又ハ煮テ食ス 浸物、あへもの又煮テ食ス 浸物又味噌豆腐ノあへものトス 煮テ副食物トス 同 浸物、あへものトシ又汁ノ實トス 煮テ食ス 同 あへものトシ又煮テ食ス鹽漬トシテ用キ ルコトアリ 生ノ儘又ハ煮テ料理用トス 茹テ、食ス 乾シ煎茶ノ代用品トシ或ハ煮テ食ス 乾シ茶ノ代用品トス 鹽漬トシテ食シ又煮テ用ウ あへもの又ハ漬物トシテ食ス	鹿児島 同 高知 青森、岩手、秋田、長野 新潟、富山、岡山、広島 關東、新潟、富山、長野、 山梨、静岡、佐賀 秋田、長崎 青森、宮城、茨城、四國 高知 本州 鹿兒島 青森、岩手 秋田、岐阜、廣島 全國 秋田 青森、秋田、宮城、岡山 岡山 青森、秋田、岩手 青森、秋田、山形

種別	名稱	方言	科名	用法並ニ調製法ノ概要	産地
五皮	いぢやく	栽培	桑科	灰汁ヲ煮沸シ水ニ晒ラシ粉砕シテ酢味噌トシテ食ス	佐賀
六(莖)幹	あかまつ さんせう		松科 芸香科	外皮ヲ去リ煮テ脂ヲ去リ糲ト交ヘ搗キ餅トス 茹テ、あくヲ去リ煮詰メテ砂糖煮トス	秋田、山形、廣島 東北、關東、京都、廣 島、愛媛、九州
七根	たらのき ふらち くけい にくけい	たらのね(佐賀) (培養植物)	五加科 荳科 桑科 樟科	粉末トシ餅ニ混シ食ス 皮ヲ湯煮シテ餅ニ混シ食ス 肉皮ヲ細末ニ割ミ桑酒ヲ製ス 幹、根ノ皮ヨリ桂油ヲ採ル	青森、九州 山形 富山、石川 奈良、山口、四國、熊 本、大分、佐賀
栽培	しなのき きのり ほのき びろき みづき つばき まゆみ のりうつき つるあぢさい	まだ こば さびた ことうづる	田麻科 玄參科 木蘭科 棕櫚科 山茶科 山茱萸科 衛矛科 虎耳草科	あへもの又ハ浸物トシ食ス あへもの又ハ浸物トシ食ス 浸物トシテ食ス 柔キ部分ヲ煮テ食ス 浸物トシテ食ス 煮テ食ス 浸物又ハあへものトシテ食ス(多ク用井 ルトキハ下痢ヲ起ス) 浸物トシテ食ス 生ノ儘又ハ煮テ食ス	山形 同 秋田 沖繩 茨城 埼玉 新潟、岐阜 秋田 青森

(新芽、皮、幹根の部)

一 草本之部

種別	名 稱	方 言	科 名	用法並ニ調製法ノ概要	産 地
一花	ちがや	つばな(高知)	禾本科	嫩穂ヲ小兒好シテ食ス	青森、秋田、山梨、静岡、愛知、關西、山陽、岡山、九州
	せんぶり	とうやく	龍膽科	生ノ儘食ス	鹿兒島
	しゆんらん	らん(青森)	蘭科	鹽漬又ハ漬物トシテ櫻湯用ニ供ス一種ノ芳香ヲ有ス	秋田、新潟、長野、京都
	やまらん		同	鹽漬トス花湯ト稱シ飲用ス又梅漬トシテ用ウ	長野、新潟
	うばみさう		蕁麻科	煮テ食シ又漬物トシテ用ウ	岩手
	わさび		十字花科	同	同
	かたくり		百合科	嫩芽ト共ニ煮テ食ス	岩手、秋田
	くわんさう		同	充分開カサルモノヲ煮テ食シ又漬物トス	青森、岩手、長野、栃木、沖繩
	さゝゆり		同	充分開カサルモノヲ梅漬ノ汁ニ浸シ食ス	岩手
	つりふねそう		鳳仙花科	茹テ食ス	兵庫
	ふき	ふきのとう	菊科	蕾ヲ「フキノトウ」ト稱シ漬物、あへもの、佃煮、味噌ト混シ食ス主トシテ香味料ニ用井ラル	全國
	たんぼ	たんぼばな	同	酔ノ物又漬物トス	關東、山梨、群馬、長野、新潟、静岡
	はこぎ		同	煙草ノ代用品トス	中國
	つはぶき		同	生ノ儘又煮テ食ス	青森
	けんげ	れんげばな(大分)	同	漬物又ハ生ノ儘食ス	大分、鹿兒島

種別	名 稱	方 言	科 名	用法並ニ調製法ノ概要	産 地
二子實	のびえ	かもあし(北陸)	禾本科	煮テ食ス	岐阜、愛知、關西、北陸、山陰、山陽
	しこくびえ		同	搗キテ食ス	富山、石川
	いぬびえ		同	同	富山
	まごも		同	搗キ米麥ニ混シ粥トナシ食ス	京都
	みのごめ		同	蒸シ煮テ食シ又糊ヲ製ス	山梨、京都
	やまのいも	むかご(九州) いもご(秋田)	薯蕷科	生ノ儘又飯ニ炊キテ食ス	秋田、關東、北陸、滋賀、京都、四國、九州
	あかざ		藜科	蒸シ又ハ煮テ食ス	秋田、岐阜、關西、北陸、山陰、山陽
	ほうづき		茄科	煮テ食ス	秋田
	たて		茄科	生ノ儘又鹽漬トシテ食ス	廣島
	なづな		十字花科	煮テ食ス	宮城
	やはすえんどう	のえんどう	豆科	煮テ食ス	秋田
	はまえんどう	はまめ(青森)	同	炒リテ食シ又煮テ食フヘシ味佳ナリ	青森、京都
	からすのえんどう		同	炒リテ食ス	西、山陰、山陽
	きつねのまめ		同	同	青森
	のあづき		同	同	京都、熊本
	くさねむ		同	炒リテ茶ノ代用品トス	佐賀
	すみれ		蕁麻科	生ノ儘香辛料トス又煮テ食ス	岐阜、愛知、關西、北陸、山陰、山陽
	つるれいし		葫蘆科	生ノ儘食ス味佳ナリ	石川、富山
	からすうり		同	未熟ノモノヲ採リ味噌漬又ハ鹽漬トス	青森、秋田、山形、新潟
三葉	くわんぞ	からすまり(秋田)	百合科	漬物又ハ酢、味噌あへトシテ食ス、生又ハ乾燥シテ餅ノ中ニ入レテ用ウ	東北、新潟、和歌山、徳島

(子實、葉の部)

種別	名稱	方言	科名	用法並ニ調製法ノ概要	産地
七 (地下 室) 根	かはらけつめい	あかびーな(沖繩)	荳科	葉、莖共ニ乾燥シ炒リテ一年茶ト稱シ茶ノ代用品トス風味佳ナリ	青森、富山、宮崎
	あかさ	あかびーな(沖繩)	藜科	葉ヲ浸物、漬物、胡麻あへトス又飯ニ混シ用ウ	本州、徳島、愛媛、沖繩
	いたどり	いたづり(四國) ごんばち(和歌山)	藜科	莖ヲあへもの又ハ浸物トス	秋田、山形、鹿兒島
	すゐぼ	すかんぼ(中國)	同	嫩葉ヲ鹽漬又ハ煮テ食ス	秋田、新潟、長野、静岡、長崎、四國
	ぎしぎし	しのは(青森)	同	嫩葉ヲ生ノ儘食ス酸味アリテ味佳ナリ味増汁ノ實、鹽漬砂糖漬トシ用ウ	本州、愛媛、大分、宮崎、鹿兒島
	いらぐさ	あいぐさ(秋田) あえ(岩手)	蕁麻科	嫩葉ヲ茹テ、浸物トス	青森、秋田、新潟、京都
	うはみさう	みづ(青森) くちなは(じやうこ) (秋田)	同	嫩葉ヲ煮又ハ鹽漬トシテ食ス	東北、新潟、富山、石川
うど	しか(宮崎) どせん(鹿兒島)	五加科	嫩葉ヲあへもの、又ハ刺身ノツマトス嫩莖ヲ料理ニ用ウ	東北、新潟、富山、石川 本州、四國、熊本 全國	
さゝゆり		百合科	鱗莖ハ苦味アレトモ煮テ食ス	岐阜、愛知、關西、山陰、山陽	
たけしまゆり		同	土人煮テ食ス又澱粉ヲ製ス	青森	

種別	名稱	方言	科名	用法並ニ調製法ノ概要	産地
(根の部)	くろゆり		同	煮テ食シ又餅ニ搗キテ用ウ	富山、石川、岐阜
	ひめゆり		同	煮テ食ス	青森
	かのこゆり		同	料理用トス	富山、石川、岐阜
	おにゆり		同	同	岩手、山形、静岡
	すかしゆり		同	同	富山、石川、岐阜
	ふぢあざみ		菊科	煮テ食ス	静岡
	はまあざみ		同	味増汁トス味牛蒡ノ如シ	廣島、山口、四國、長崎、熊本、佐賀
	おにのやがら	ぬすびとのあし	同	燥熟シ煮テ食ス	秋田
	ふと		蕁麻科	糖味増又ハ漬物トシテ食ス	廣島
	やまにんじん	せりにんじん	繖形科	莖ヲ生又ハ鹽漬トシテ食ス根ハ煎シテ茶ノ代用品トス	秋田
	ちがや	かや(鹿兒島)	禾本科	生根ヨリ甘汁ヲ吸フ	高知、廣島
	よし		同	咬ミ搾リテ甘汁ヲ吸フ	長崎
	やまのいも	じねんじよう	薯蕷科	煮テ食ス	秋田、埼玉
	とこ		同	乾シ粉末トシ片栗ヲ探ル又焼キテ食ス	全國
	まるばとこ		同	煮テ灰汁ニ浸シ苦味ヲ去リ飯ノ糧トス又葛トナシ用ウ	青森、岩手、秋田、福島
	たびをか		大戟科	苦味ヲ去リ蒸シ又米麥ニ混シ用ウ	埼玉、静岡、富山、新潟
	ほどいも		同	搗キ碎キ澱粉ヲ探ル	三重
こんにやくいも		天南星科	灰水ヲ以テ燥熟シ蒸焼キ又ハ油揚トス粉碎シ煮タルモノヲ搗キ石灰ノ等分量ト沸煮シ蒟蒻トシテ食ス	沖繩、關東、長野、山梨	
てんなんしやう		同	皮ヲ去リ赤分ヲ除キテ食ス	静岡、岡山、高知、愛媛	
いけま		蘿藦科	赤分ヲ去リ澱粉ヲ探リ食ス	秋田、九州	

二羊齒、地衣之部

種別	名	稱	方	言	科	名	用法並ニ調製法ノ概要	産	地
一芽軸	す	ぎ	な	つくづくし(岡山) つくし(中國) ひがんぼうす(四國) しくべ(秋田)	木賊科	浸物、あへものトシテ食ス 水洗シ酒ノ粕ニ漬ケ食ス 煮又ハ生ノ儘料理用トス 嫩苗ヲ煮テ食ス	東北、關東、群馬、長野、新潟、山梨、静岡、島根、山口、福岡、大分、佐賀、長崎、四國、青森、秋田、山梨、福島、佐賀、大分、長崎、北陸、中國、富山、石川、京都		
二嫩芽	わ	ら	び	くらべ(鹿兒島) くづこ(奥州) たけわらび	同 同 同 瓶爾小草科	煮テ食ス 又鹽漬トシテ用キ澱粉ヲ製ス 煮テ食ス 鹽漬トシ又煮テ食ス 嫩葉ノ未タ開カサルヲ採リ煮又ハ乾シテ用ウ	本州、九州、沖縄 長野 秋田、山形 愛知 本州、九州、沖縄		
三根	わ	ら	び	ぜんめ(鹿兒島)	水龍骨科	水ニ浸シ汁ヲ採リ沈澱セシメ澱粉ヲ作り團子又ハ糊トス 粉碎シ水ニテ酒ラシ葛トナシ食ス	全國 岩手、埼玉、廣島、熊本		
四地衣	い	は	たけ	か	地衣	煮又ハ乾燥シテ料理ニ用ウ	青森、栃木、長野、埼玉、新潟、福島、兵庫、廣島、島根、岡山、福岡、長野、新潟、福島		

和名索引(食用之部)

和名索引(食用之部)

一羊齒、地衣之部

種別	名	方	科	用法並ニ調製法ノ概要	産地
一芽軸	すぎな	つくづくし(岡山) つくし(中国) ひがらぼうず(四国) しくべ(秋田)	木賊科	浸物、あへものトシテ食ス 水洗シ酒ノ粕ニ漬ケ食ス 煮又ハ生ノ儘料理用トス	東北、關東、群馬、長野、新潟、山梨、静岡、島根、山口、福岡、大分、佐賀、長崎、四国、香森、秋田、山梨、福岡、佐賀、大分、長崎、北陸、中国、富山、石川、京都
二嫩芽	わらび みやまめした くまわらび ふゆのはなわらび ぜんまい	わらび(鹿兒島) くづこ(奥州) たけわらび ぜんめ(鹿兒島)	同 同 同 瓶爾小草科 薇科	医汁ニテ「あく」ヲ去リ煮又ハ乾シテ食ス 又鹽漬トシテ用キ澱粉ヲ製ス 煮テ食ス 鹽漬トシ又煮テ食ス 煮テ食ス 嫩葉ノ未タ開カサルヲ採リ煮又ハ乾シテ用ウ	本州、九州、沖縄 長野 秋田、山形 愛知 本州、九州、沖縄
三根	わらび ぜんまい		水龍骨科 薇科	水ニ浸シ汁ヲ採リ沈澱セシメ澱粉ヲ作り 團子又ハ糊トス 粉碎シ水ニテ酒ラシ葛トナシ食ス	全国 岩手、埼玉、廣島、熊本
四地衣	いはたけ かはいはたけ		地衣	煮又ハ乾燥シテ料理ニ用ウ	青森、栃木、長野、埼玉、新潟、福島、兵庫、廣島、島根、岩手、新潟、埼玉、長野、新

和名索引

○い之部

いはたばこ……………(葉)……………二四頁
 いはぶき……………(葉)……………二四
 いたどり……………(莖)……………二六
 いたびかつら……………(實)……………二五
 いぬがらし……………(葉)……………二六
 いぬびえ……………(實)……………二一
 いらぐさ……………(葉、莖)……………二六
 いぶきぼうふう……………(葉、莖)……………二五
 いけま……………(根)……………二七
 いぬびは……………(實)……………二五
 いぬぶな……………(葉)……………二二
 いぼたのき……………(實)……………二四
 いはつじ……………(實)……………二六
 いはなし……………(實)ちなしニ同シ……………二八
 いちぐ……………(實)……………二一
 いものき……………(新芽)……………一七
 いたやかへて……………(新芽)……………一八
 いてう……………(實)……………一六
 いちひがし……………(實)……………一五
 いちみ……………(實)……………一三
 いはがらみ……………(葉)……………一四
 いはたけ……………(葉)……………一三
 いはながな……………(葉)……………二二

○ろ之部

○は之部

いぬまき……………(實)……………三
 いぬざくら……………(實)……………七
 いはも……………(實)こけもニ同シ……………三
 いぬがや……………(實)……………三
 はこくさ……………(花)……………二〇
 はこへ……………(葉)……………二二
 はるぐみ……………(實)なはしろぐみニ同シ……………二三
 はまあざみ……………(根)……………二七
 はまぼうふう……………(葉、莖)……………二五
 はまえんどう……………(實)……………二一
 はんくわじゆ……………(實)……………一〇
 はぎ……………(葉)……………三
 はこねうつぎ……………(葉)……………五
 はりぎり……………(新芽)……………五
 はせのき……………(葉)……………三
 はしばみ……………(新芽)……………六
 はないかた……………(實)……………四
 ばら……………(新芽)……………九
 ばらいちこ……………(實)……………八
 はまなす……………(實)……………五
 はるにれ……………(新芽)……………一六

○に之部

○ほ之部

はちく……………(實)……………九
 ほんじらう……………(實)……………八
 はこねだけ……………(實)……………九
 にな……………(葉)……………二二
 になら……………(葉)……………二三
 にりんさう……………(葉)……………二四
 んにん……………(葉、莖)……………二九
 んにん……………(根)……………二九
 にはとこ……………(新芽)……………一六
 にかいちこ……………(實)……………二七
 にくけい……………(葉)……………七
 にとら……………(根)……………一七
 にとら……………(花)……………一四
 ほらつぎ……………(實)……………二一
 ほたるぶくろ……………(葉)……………二三
 ほども……………(根)……………二七
 ほのき……………(新芽)……………一七
 ほたん……………(花)……………二

ほていちく (筍) 一八
ほらいちく (筍) 一九
ほうろくいちく (實) 七

○へ之部

○と之部

ところ (根) 二七
とりあししようま (葉、莖) 二五
とちのき (實) 九
ときはあけび (實) 五
どくだみ (葉、莖、根) 二九

○ち之部

ちくさ (葉) 二二
ちがや (花) 二〇
ちよろき (根) 二七
ちや (實) 三
ちしやのき (葉) 一
ちなし (實) 四
じつちく (筍) 一八

○り之部

りうがん (實) 一〇
りやうぶ (新芽) 一六

○た之部

だいもんじさう (莖) 二五
たけしまゆり (根) 二六
たて (實、葉) 二一
たねつけはな (葉) 二三
たびらこ (葉) 二四
たんぼ (花) 二〇
たこのき (葉、莖、根) 二九
だいたい (新芽) 一五
だいまやちく (實) 一八
たいさんぼく (花) 三
たいさんちく (筍) 九
たらのき (新芽) 五
たぶ (葉) 七
たちはな (根) 三
たにうつき (葉) 一
たまあじさい (實) 二
だんこうばい (葉) 六
たいまんがさ (葉、莖) 二五
たうこぎ (葉) 二二
たひをか (根) 二七
たかのつめ (いものきニ同シ) 二七
れいし (實) 一〇
そくづ (葉) 二四

○ぬ之部

○る之部

○お之部

ぬるて (花) 九
おほにら (莖) 二九
おほばこ (葉) 二九
おがらし (葉) 二九
おにゆり (葉) 二二
おみなへし (根) 二七
おかひじき (葉) 二四
おほかめのき (莖) 二五
おほばすのき (實) 一五
おにぐるみ (花) 八
おにのやがら (實) 二七
わらび (嫩芽) 三〇
わさび (根) 二〇
わすれぐさ (葉) 二八
か (葉) 二八

○か之部

○つ之部

そてつ (實) 一七
つばき (花) 二〇
つるな (葉、莖) 二五
つるれいし (實) 二一
つりがねにんじん (葉、莖、根) 二九
つくはねのき (新芽) 一六
つばき (實) 一七
つるあぢさい (新芽) 九
つるかうぞ (實) 一五
つるぐみ (實) 六
つのはしはみ (花) 一〇
つりふねさう (花) 二〇
つるぼ (葉) 二二
つじ (花) 一四
ねまかりだけ (筍) 一八
ねむのき (葉) 一三
なるこゆり (葉、根) 二八
なつな (實) 二二

○ね之部

○な之部

○よ之部

かたくり (花) 二〇
かたばみ (葉、莖、根) 二九
かわらけつめい (葉) 二四
かはらはこ (葉、莖) 二六
かわちさ (葉) 二二
からすうり (實) 二四
からすのえんどう (根) 二八
かのこゆり (實) 二一
がま (葉、根) 二七
かはやなき (葉) 一九
かぢいちご (花) 二一
がますみ (實) 一七
からこぎかへて (實) 一〇
かし (新芽) 四
かしは (實) 二
かき (實) 一
かや (實) 一
がんころらん (實) 一
からたち (實) 一
かはいはたけ (實) 一
よし (根) 二七
よめな (葉) 二二
よもぎ (葉) 二二
よぶすまさう (葉) 二二

○ら之部

○む之部

なつぐみ (實) 一六
なつみかん (新芽) 一三
なつめ (實) 一六
なつなし (實) 一八
なつはぜ (實) 一八
なわしろぐみ (實) 一六
なわしろいちご (實) 一七
なき (葉) 一
なし (實) 一
なんてんはき (葉) 二四
むくえのき (實) 五
むくげ (花) 二
むくろじ (實) 一
むべ (實) 一
うはゆり (葉、根) 二八
うはみずぎら (實) 七
うはみさう (花) 二〇
うはみさう (葉、莖) 二六
うまごやし (葉) 二四
うど (葉、莖) 二七
うぐひすかぐら (實) 九
うしろし (實) 七
うりはだかへて (葉) 一三

第貳編 特殊用途之部

目次

第一章

一 木本之部

一	花	一頁
二	實	一頁
三	葉	五頁
四	新芽	九頁
五	枝	九頁
六	皮	九頁
七	幹	一七頁
八	根	二二頁
二 竹之部		
一	葉	二三頁
二	籜	二三頁
三	枝	二三頁
四	幹	二四頁

第二章

一 草本之部

一	花	二五頁
二	子實	二五頁
三	葉	二五頁
四	莖	二六頁
五	皮	二八頁
六	根	二八頁
二 蘚苔、羊齒、木賊、石松類之部		
一	葉	三〇頁
二	芽軸	三〇頁
三	莖	三〇頁
四	根	三一頁
和名索引		
		三三頁

一木本之部

種別	一花	二實
名稱	こぶし くまざくら やまざくら のいはら ばちなし くちなし もくせい	ねずみさし かや いぬがや いてう おにぐるみ ひめぐるみ のぶのき やまも やしやぶし
方言	さくら	むろ ほんがや(關西) しよぶ(新潟) へばかや(東北) ぎんなん くるみ(富山) めぐるみ
科名	木蘭科 殼斗科 薔薇科 同 同 茜草科 木犀科	松科 一位科 同 公孫樹科 胡桃科 同 同 楊梅科 樺木科
効用	香油ヲ製ス (石鹼洗粉製造ニ用ヰラル) 挿秧ノ際使用ス 染物用トス ばら香油トス 香油原料トス 黄色染料トス 香油原料トス	杜松子油トス (製油原料トス) (合羽ノ製造、塗料、理髮油トス) 製油原料トス効用「かや」ニ同シ 化粧油トス 繪具用ノ油ヲ製ス 効用「おにぐるみ」ニ同シ 媒染劑トス 茶色ノ染料トス (染色用トス) (陶器ニ古色ヲ帶ハシムルニ用フ)
調製法	花、芽及幼枝ヲ蒸餾シテ製ス 古來ノ慣行ニヨル 蒸餾シテ製ス 蒸餾シテ製ス 水ニ浸シテ製ス 蒸餾シテ製ス	乾シ皮ヲ去リ熬リテ壓搾シ油ヲ製ス 土中ニ埋メ外皮ヲ去リ熬リテ壓搾シ油ヲ探ル 搾リテ製ス 搾リテ無色ノ油ヲ探ル 「おにぐるみ」ニ比シ製法容易ナリ 燃シタル灰ヲ用ウ 乾燥シ粉末トシ煮沸液ヲ用ウ
產地	福島、福井 京都、兵庫 秋田 埼玉、佐賀 福島 京都、廣島 佐賀	廣島 關東、關西、中國九州 東北、關西、北陸 宮城 青森、秋田、岩手 富山 青森 廣島 島根、山口 青森、關東、北陸 山梨、長野、静岡 鹿兒島

(花、實の部)

一

種別	名稱	方言	科名	効用	調製法	産地
	やまはんのき		樺木科	黄褐色染料トス	煮沸液ヲ用ウ	福島、埼玉、佐賀
	はんのき		同	染料トス	煮沸液ヲ用ウ	岩手、埼玉
	あぶらぎり	どくえ(福井)	大戟科	桐油ヲ製ス (鼠食スレハ、斃死ス故ニ傘、 合羽、竿、提灯、障子ニ塗 布ス又乾燥速カナルヲ以テ 印刷ニ用井ラル、西洋紙ヲ 此油ニ浸漬スレハ、耐水紙ヲ 得又人造紙ニ「リノリ」 ム製造等用途甚タ廣ロシ)	搾リテ採ル	京都、静岡、長崎
	やまがき		柿樹科	魚網染料トス	不熟ノモノヨリ漉テ採リ用 ウ	茨城、富山、四國 九州、關西、山陰 關東、北陸、長野 四國、大分、鹿児島
	まめがき		同	防腐塗布劑トス	同	栃木、島根
	いぬさんせう		芸香科	化粧用香油トス	蒸餾シテ油ヲ採ル	新潟、山梨、京都
	さんせう		同	製油原料トス	同	廣島、山口、廣島
	くちなし		茜草科	黄色染料トス	能ク熱シテ霜降りシ後取り 乾燥シ煎出シ用ウ	關西、愛媛、佐賀
	ぶし		穀斗科	油ヲ製ス (食用、減摩用トス)	搾リテ採ル	宮崎、鹿児島
	かぬし		同	工業用糊料トス	澱粉ヲ採リ用ウ	東北、四國、九州
	かぬし		同	染料トス	穀ヲ煎シ用ウ	山陰
	かぬし		同	茶ノ代用品トス	乾シ熱リテ粉末トシ用ウ	山梨、廣島、山陰
	かぬし		同	糊、糸ノ染料トス	穀ヲ煎シ用ウ	奈良
	かぬし		同	香油ノ原料トス	蒸餾シテ油ヲ採ル	廣島 和歌山、九州、四 國、千葉

種別	名稱	方言	科名	効用	調製法	産地
	しきび(千葉)		染料トス	殺蟲劑トス	乾燥シテ用ウ	和歌山
	こほのみ(新宮)		同	冬季花ノ代用トス	煎汁ヲ用ウ	同
	こぼし		漆樹科	黑色染料トス	煮汁ヲ用ウ	青森
	ろろうるし		同	蠟ヲ製ス	煮液ヲ搾リテ採ル	長野
	はし(鹿兒島)		同	蠟ヲ製ス (石鹼用減摩用トス)	粉砕シ熱シ鐵盤ニ入レ石ヲ 以テ押付ケ糊ヲ以テ連打シ テ製ス	東北、福島、關東、長 野、關西、山陰、山陽 關東、山陰、山陽 九州
	ぬるて		同	蠟ヲ製ス	粉末トシ熱湯ニ投シ蠟粉ノ 生スルヲ待チテ取リ上ケ蒸 シ壓搾シ製ス	宮城 秋田、山梨、畿内 山陰、山陽、北陸 高知、長崎
	えごのき	づき(中國)	齊墩果科	山雀ノ飼料トス ヅサノ油ヲ製ス (石鹼用減摩用トス)	生ノ儘用ウ	中國
	るみのろしころ		同	水田ノ肥料トス	潰シテ小流ニ投ス	福島、畿内、北陸 山陰、山陽
	つばき	つばきあぶら	山茶科	油ヲ製ス (燈火用食用トス)	搗キ碎キ灰ト混シテ用ウ	静岡 東京、秩父地方)
	ささんくわ	ひめつばき(鹿兒島)	同	椿油ヲ製ス (毛髪油、燈用、食用、機械 油、其他用途廣シ)	皮ヲ去リ蒸シテ搾ル	新潟
	さかき	同	同	油ヲ製ス (頭髮油塗料ニ併セラル)	乾燥シ粉砕シ蒸シテ壓搾ス	關東、群馬、長野 新潟、静岡、島根 九州
	あけび	あくしば(九州)	同	染料トス	其儘用ウ	高知、廣島、九州
	あけび		木通科	染料又ハ製油原料トス	乾燥シ熱リ粉末トナシ蒸シ テ搾リ薄紙ニテ漉シタルモ ノヲ木通油ト云フ	廣島
	みつばあけび	むべ	同	油ヲ採ル	潰シテ搾ル	廣島、高知 秋田

實の部

種別	名	方	科名	効用	調製法	産地
きふち	まめふち(静岡)	旗節科	齒ヲ染ムルニ用ウ 染色劑トス	湯ヲ掛ケ日光ニ晒ラシ貯フ 布ニ包ミ搾リテ油ヲ採ル	沖繩 静岡、福岡 青森、岩手、宮城 千葉、新潟、和歌 山、中国、高知 秋田	
くろもじ	とりこしは(秋田)	樟科	化粧用香油ヲ採ル 製糖用トス	潰シテ搾ル 桶ニ入レ攪拌シ外皮ヲ去リ 粉末トシ蒸シテ油ヲ搾ル	秋田、静岡 三重、福岡、佐賀 大分、宮崎 高知、長崎	
あぶらちやん	つざきのみ(秋田)	同	チガノ油ヲ採ル (香油燈用料理用トス)	同	長崎、佐賀	
やぶにくけい	同	同	油ヲ採ル (石鹼用、驅虫劑、蠟油トス)	同	同	
くろだも	同	同	椰子油ニ類似ノ油ヲ製ス (石鹼製造用ニ供ス)	同	同	
しるだも	同	同	油ヲ採ル (殺虫用、石鹼用、燈用トス)	採取ノ儘保存ス	同	
つるめもどき	同	同	同	同	同	
うめもどき	同	同	同	同	同	
さいかち	同	同	同	同	同	
むくろじ	同	同	同	同	同	

栽培
植物

種別	名	方	科名	効用	調製法	産地
あかまつ	安石榴科	煤染劑トス (油ヲ製ス 減磨用、石鹼、燈用、毛髮 油トシテ用井ナル)	果皮ヲ乾燥シ粉末トシ用フ 搾汁ヲ用ユ	山梨、奈良、廣島 大分、熊本、宮崎		
くろまつ	松科	線香、抹香原料トス	同	島根		
ひのまつ	同	同	同	宮城、島根、高知		
すき	同	饅頭ノ下敷トス 香油原料トス	同	山陽、北陸、山陰		
さきはら	同	線香、抹香原料トス	生ノ儘用ウ	中国、香川		
ねづみさし	同	香油ヲ製ス (脂肪、スピンドル油ノ消臭 劑等トス)	蒸餾シテ香油ヲ採ル	静岡		
いぢみさし	同	油ヲ採リ香料トス	乾シ搗キ粉末トシ用フ	茨城、畿内、北陸 山陰、山陽、愛媛 佐賀、福岡		
いぢみさし	一位科	香ノ代用品トス	蒸餾シテ採ル	静岡		
そてつ	蘇鐵科	工業品原料トス	火ニ投シテ用ウ	同		
いぢみさし	公孫樹科	害虫驅除ノ効アリ又肥料ト ナス	乾燥シ粉末トシ用ウ	關西、山陰、山陽		
あだに	菜蘭科	「シミ」ノ害ヲ防クノ効アリ	乾燥シ壓搾シ用ウ	新瀉		
あだに	同	バナマ帽又ハ編物トス	田畑ニ投ス	鹿兒島		
あだに	同	笠、團扇、帽子ノ原料トス	書冊ニ挿シ置ク	中国		
あだに	同	下駄ノ緒、夏帽子、網、編叩 ヲ製ス	粗製纖維ヲ用ウ	宮崎、鹿兒島、沖繩		
あだに	同	粗布ヲ織ル又細ヲ製ス	嫩葉ヲ採取シ乾燥シ用ウ	宮崎、沖繩		
あだに	同	同	同	富山、京都、奈良		
あだに	同	同	同	沖繩		
あだに	同	同	同	小笠原島、琉球		

(葉の部)

種別	名稱	方言	科名	効用	調製法	産地
	はんのき	水田ノ肥料トス	樺木科	其儘用ウ	同	静岡
	やまはんのき	同	同	同	同	同
	むくのき	むくのき(關西)	楡科	蒸シ系ニテ連ネ藍干シトシ 水ニ浸シ軟カニナシ水分ヲ 去リテ用ウ	同	愛知、滋賀、畿内 山陰、山陽、北陸
	かしは	餅包用トス	穀斗科	生ノ儘用ウ	同	新潟、山口、九州
	かぬ	染物用トス	同	煎出シ用ウ	同	本州、九州
	かぬ	天蠶ノ飼料トス	同	其儘用ウ	同	高知
	かぬ	天蠶、柞蠶ノ飼料トス	同	同	同	中国
	かぬ	山藓飼料トス	同	同	同	栃木、長野、中国
	かぬ	餅包用トス	同	同	同	島根
	かぬ	餅包用トス	同	同	同	熊本
	かぬ	同	同	同	同	埼玉
	かぬ	同	同	同	同	關西、山陰、山陽
	かぬ	同	同	同	同	北陸
	かぬ	同	同	同	同	全國
	かぬ	同	同	同	同	静岡
	かぬ	同	同	同	同	静岡、群馬、秋田
	かぬ	同	同	同	同	山形、京都、廣島
	かぬ	同	同	同	同	秋田
	かぬ	同	同	同	同	中国
	かぬ	同	同	同	同	沖繩、四國、九州
	かぬ	同	同	同	同	沖繩、小笠原島

種別	名稱	方言	科名	効用	調製法	産地
	にくけい	同	同	生ノ儘用ウ	同	宮崎、鹿兒島
	たき	同	同	粉末トシテ用ウ	同	四國、九州
	しき	同	木蘭科	蒸餾シテ探ル	同	静岡、和歌山、四國、九州
	ほのき	同	同	燒キ水ニ浸シ灰汁トシテ用ウ	同	千葉、廣島、京都
	あせ	同	同	生ノ儘用ウ	同	本州
	はなひりのき	石南科	挿秧ノ際供物ヲ包ム	(古來ノ慣行ニヨル)	同	京都
	やまつじ	同	殺虫劑トス(雪隠ノ蛆ヲ殺スニ多ク用キラル)	煎汁ヲ用ウ	同	滋賀、廣島、高知、佐賀
	しやくなげ	同	染料トス	粉末トシテ用ウ	同	奈良
	あかめかしは	同	煙草ノ代用品トス	煎シテ用ウ	同	青森
	ゆづりは	同	煙草ノ代用品トス	煎シテ用ウ	同	高知
	かづら	大戟科	皂色ノ染料トス	乾燥シ煎汁ヲ用ウ	同	本州、九州
	ばくちのき	同	錢首ノ飾リトス	其儘用ウ	同	青森、秋田
	やまさくら	薔薇科	抹香、線香原料トス	日光ニ干シ粉末トシ用ウ	同	鹿兒島
	まるばいばら	同	餅包用トス	蒸餾シ露液ヲ探ル	同	東北、關東、關西
	ねむのき	同	同	生又ハ煮テ鹽漬トシ用ウ	同	佐賀
	あけ	荳科	衣服ノ洗濯用トス	乾シテ用ウ	同	京都
	さか	木通科	茶ノ代用品トス	搗キ腐ラン又ハ蒸シテ用ウ	同	千葉、茨城、岐阜
	さか	山茶科	神前ニ供ス	嫩葉ヲ刻ミテ乾燥シ用ウ	同	岡山
	さか	同	同	其儘用ウ	同	千葉、滋賀、京都

種別名	方	科名	効用	調製法	産地
つばき		山茶科	擲餅ヲ包ム 染物用トス	其儘用ウ 燒キ灰トナシ用ウ	愛知、岐阜、滋賀、關西、山陰、山陽
ひさかき		同	媒染劑トス	燒キア用ウ	佐賀
はぜのき		漆樹科	萌黄ノ染料トス	煎汁ヲ用ウ	廣島
やまうるし		同	染料トス	乾シ煎汁ヲ用ウ	京都、廣島
うるし		同	黒色ノ染料トス	同	滋賀
ぬるて		同	虫糞ヲ染料トス (齒ノ染料ニ供ス)	乾シ粉末トシ用ウ	岩手、山形、福島、新潟、三重、奈良
とちのき		七葉樹科	砂糖、魚類ヲ包ム	同	新潟、千葉、茨城
せんたん		棟科	殺虫劑トス	煎シテ用ウ	關西、山陰、山陽
きんせう		芸香科	染料トス	煎シテ用ウ	東北、關東、新潟
さんせう		同	香料トス	生ノ儘用ウ	佐賀、大分
いたやかへて		同	香料トス	煎汁ヲ用ウ	秋田、富山
そよご	そよぎ(長野)	同	香料トス	煎汁ヲ用ウ	中國
りやうぶ		同	香料トス	煎汁ヲ用ウ	長野、新潟
はいのき		同	香料トス	其儘用ウ	高野、新潟、奈良
さるとりばら		同	香料トス	煎汁ヲ用ウ	高知
きり		同	香料トス	煎汁ヲ用ウ	京都

種別名	方	科名	効用	調製法	産地
むくげ		錦葵科	石鹼ノ代用品トス	揉ミ碎キテ洗濯ニ用ウ	熊本
さんせう		芸香科	香料トス	其儘用ウ	全國
はぜ		漆樹科	染料トス	其儘用ウ	廣島
ひのき		松科	洋傘ノ手元トス	(海外ニ輸出ス) 葉ト共ニ用ウ	奈良、三重、和歌山
すき		同	佛事造花ニ用ウ	同	全國
しき	はなしは	木蘭科	佛事造花ニ用ウ	同	關西、關西、山陰
さかき		山茶科	香油ヲ採ル又小楊枝ヲ作ル	同	高知、愛媛
くろもじ	とりこしは(秋田)	樟科	香油ヲ採ル又小楊枝ヲ作ル	乾燥シテ用ウ	秋田、九州
のいばら		薔薇科	串トス	乾燥シテ用ウ	秋田
えごのき		薔薇果科	洋傘、洋杖ノ材料トス	同	奈良
そよご		冬青科	同	同	同
むめもどき		同	同	同	同
のりのき		虎耳草科	パイプ、杖ヲ製ス	皮ヲ剥キ用ウ	秋田
なつぐみ		胡頹子科	杖ノ材料トス	皮ヲ剥キ用ウ	長崎
むくげ		錦葵科	織維ヲ用ウ	皮ヲ剥キ水ニ晒ラシ用ウ	山口
ひらぎ		木犀科	節分寛除ケトス	同	静岡
ひのき	ほんひ	松科	屋根葺用トス 扁柏ノ葉トス (船桶ノ隈目ヲ塞クニ用ウ)	長サ三尺五寸巾六尺五寸ニ 割キ用ウ	奈良、長野、岐阜、京都、廣島、高知
かろやまき		同	同	同	山形、高知、熊本

(葉、新芽、枝、皮の部)

種別	名稱	方言	科名	効用	調製法	産地
す	すき	あすひ(木曾) あて(石川) ひのき(青森)	松科	屋根葺用トス 壁用トス 屋根葺用トス	長サ四尺巾適宜ニ切り剥キ 積重テ用ウ	東北、富山、静岡 京都、高知、熊本 鳥根 秋田
ひ	は		同	茹ヲ造ル (船、桶ノ障目ヲ防ク) 織維ヲ火細トス		青森、山形、長野 岐阜 佐賀、秋田
あ	あかまつ	めまつ(静岡)	同	樹脂ヲ以テ瀝青トス 屋根葺用トス又繩ヲ作り、 茹ヲ製ス	煎汁ヲ用ウ 油ニ練リ用ウ 織維ヲ用ウ	青森、静岡、鳥根
ね	ねずこ	くろび(東北)	同	壁用トス 屋根葺用トス	長サ三尺五寸巾六尺五寸ニ 剥キ用ウ	秋田
も	もみ	もみり みずもみ	同	屋根葺用トス	同	静岡、中国、高知
さ	さはら	ぬかひ(東北)	同	茹ヲ造ル	長サ三尺五寸巾六尺五寸ニ 剥キ用ウ	山形
つ	つが	とが(中国)	同	屋根葺用トス 網染料トス	煎汁ヲ用ウ	静岡、中国、高知
こ	こめつが	べにつが	同	屋根葺用トス 漁網染料トス	煎汁ヲ用ウ	高知
い	いぬまき	くさまき	一位科	船舶用茹ヲ作ル	同	千葉
お	おにぐるみ		胡桃科	鞣皮材料トス茶色ノ染料トス	内皮ヲ用ウ 粉末トシ煎汁ヲ用ウ	關東、新潟、長野

種別	名稱	方言	科名	効用	調製法	産地
さ	さはぐるみ	かはぐるみ	同	結束用トス 茶色ノ染料トス	剥皮ノ儘用ウ 煮沸液ヲ用ウ 長四尺巾適宜ニ剥キ用ウ	青森 新潟
の	のぶのき		同	網物トス 染料トス	剥皮ヲ用ウ 煎汁ヲ用ウ	福島、高知 畿内、北陸、山陰 山陽
し	しらかんば	ぶた(東北)	樺木科	屋根葺又松明トス 染料トス	共儘用ウ 煎汁ヲ用ウ	東北、埼玉、長野 福島
ま	まかんば	なかのしらかんば(東北)	同	細工又ハ曲物用トス	浸出液ヲ用ウ	青森、岩手、宮城
や	やしやぶし		同	鞣皮材料トス	煎汁ヲ用ウ	佐賀
や	やまはんのき		同	黄色染料トス	煎汁ヲ用ウ	東北、栃木、群馬 千葉、山梨、茨城
は	はんのき		同	鞣皮材料、染料トス	同	滋賀、千葉、滋賀 兵庫
や	やまも	もまかは	楊梅科	漁網染料トス	同	廣島、山口、鳥根 九州、愛媛、香川
は	はこやなぎ		楊柳科	鞣皮材料トス	同	青森
や	やなぎ		同	繩ヲ製ス 製紙原料トス (書狀用紙壁紙ニ適ス)	乾燥シ細ク裂キ用ウ 蒸シ剥皮シテ用ウ	同
か	かしは	かしらぎ(東北)	穀斗科	鞣皮材料トス 漁網染料トス	煎汁ヲ用ウ又エキスヲ作ル	高知 本州、九州
こ	こな		同	鞣皮材料トス	煎汁ヲ用ウ	畿内、山陰、山陽
し	しひ		同	「カーキ」色ノ染料トス	乾シ煎汁ヲ用ウ又「エキス ヲ作ル」	千葉、和歌山、山口 四國、九州、沖縄

(皮の部)

種別名	方言	科名	効用	調製法	産地
あかまつ		松科	「クロマツ」ニ同シ	加工シテ用ウ	岐阜、愛知、關西
かはや		一位科	恭盤、算盤玉トス	同	長崎
さばぐるみ		胡桃科	下駄材トス	同	青森、秋田
やなぎ		楊柳科	製繩原料トス	其儘用ウ	長野
どろのき		同	火薬函トス		岐阜
やまならし	どろ(東北)	同	經木機寸軸木トス		秋田、岐阜
こりやなぎ		同	小楊枝トス	細ク割り用ウ	岩手
な		殼斗科	木灰ヲ製シ火薬ト混シ用ウ	焼キテ木灰トス	千葉
あらがし		同	柳行李ノ原料トス		大分
ぶ		同	樺製作用ニ供ス		秋田、廣島
く		同	椎茸ノ柄木トス		青森、秋田
うばめがし		同	下駄齒トス杓子ヲ作ル		長崎
し		同	獨樂ヲ製ス		岐阜
き		同	鍛冶屋炭トス		東北、長野、新潟
		同	備長炭トス		秋田、静岡、京都
		同	(鐵ヲ燒クニ用ウ)		静岡、和歌山
		同	椎茸ノ柄木トス		京都、福岡、佐賀
		同	テニス用ネットノ張棒トス	四尺乃至六尺ニ切り用ウ	熊本、大分、長崎
		支參科	桐炭ト稱シ工下輪用トス		佐賀

種別名	方言	科名	効用	調製法	産地
うつつぎ	のりのき	虎耳草科	新炭ハ火薬用トス	乾燥シテ用ウ	新潟、岐阜
のりうつき	ちようめん(四國)	同	呑口木釘ヲ製ス	薄ク削リ樽詰メトシテ海外ニ輸出ス	青森、秋田、新潟
えこのき		齊墩果科	傘轆轤用トス		高知
またゝび		同	洋傘ノ手元、洋杖ノ原料トス	(神戸ヲ經テ海外ニ輸出ス)	岐阜
しらくちづる		同	鱈捕獲用トス	剥皮シ割り鱈筒ニ入レ用ウ	秋田
あぶらぎり		大戟科	「カンヂキ」ヲ製ス	焼キテ用ウ	静岡
う		漆樹科	駿河炭ト稱シ漆器用磨讓トス	樹幹ヲ傷ケ採ル	青森、秋田、福井
つたうるし		同	漆液ヲ採ル	液汁ヲ用ウ	山陰、山陽、熊本
いたやかへて		同	染色用トス		大分、宮崎
うりはたかへて	うりのき(兵庫)	同	道谷笠ノ原料トス	割キテ薄片トナシ用ウ	青森、岩手
かへて	やまもみぢ	同	籠ヲ編ム	割裂シ易キヲ利用ス	兵庫、高知
さんせう		同	樞代用、鉄ノ柄トス		静岡
ほのき		芸香科	ガワキオリン製作用トス	加工シ用ウ	岐阜
ひなんかつら	さねかつら	木蘭科	樺木トス		静岡
	ふのりかつら(鹿兒島)	同	鉄ノ柄、塗物木地、履物、經木原料トス		東北、栃木、京都
		同	生糸樞トス		福岡
		同	製紙用糊料トス	蔓ノ切口ヨリ出ツル液汁ヲ用ウ	岐阜
		同	美髪用トス		滋賀、長崎、熊本
		同			佐賀、鹿兒島

(幹の部)

種別	名稱	方言	科名	効用	調製法	産地
	あけび	あけびづる	木通科	木通細工トス	水ニ浸シ皮ヲ去リ漂白シテ製ス	青森、岩手、茨城、栃木、長野、新潟、滋賀、秋田、静岡、富山、長野、福島
	みつばあけび		同	同	同	同
	とちのき		七葉樹科	椀其他ノ器物ヲ工作ス	瘤又ハ材ヲ加工シ用ウ	同
	しのき		田麻科	彫刻用トス	胴切トシテ挽割り用ウ	(外國ニ輸出ス)
	そよご		冬青科	洋傘ノ手元洋杖トス		奈良
	いぬつけ		同	印材又縮材料トス		長崎
	けやき		楡科	染料トス	焼キテ灰トナシ用ウ	同
	はんのき		楡木科	下駄齒トス	板ニ挽キ用ウ	奈良
	そろ	いぬして	同	推車ノ楯木トス		福岡、佐賀、長崎
	いものき	いもぎり たかのつめ(宮崎)	五加科	經木又笠ノ原料トス (夏帽子裏張りニ用ウ)		岩手、秋田、宮城、福島、高知、宮崎
	たらのき		同	經木真田ノ一種トス	三尺方寸ノ織物トシ海外ニ輸出ス	高知、鹿兒島
	ごんぜつ	こしあぶら	同	下駄材トス	加工シテ用ウ	高知、鹿兒島
	はりぎり	おんばら(高知)	同	烏賊釣懸餌材料トス	薄ク割り用ウ	秋田
	さくら		薔薇科	版木トス	テニス用ラケットヲ製ス	岐阜

種別	名稱	方言	科名	効用	調製法	産地
	やまなし		同	亞鈴ヲ製ス		岐阜
	しやりんばい		同	揚子入レトス		同
	くまやなぎ		同	大島納ノ染料トス	皮、根ト共ニ細割シ乾燥シ煎シテ用ウ	鹿兒島
	しろもじ		鼠李科	砂防護岸工ニ用ウ		秋田
	くろもじ	とりこしば(秋田)	榉科	洋傘ノ手元、洋杖材料トス		奈良
	にがき		同	「カンヂキ」ヲ製ス	乾シ用ウ	秋田
	やまさいかち		苦木科	小揚枝ヲ製ス		關東、北陸、關西
	はぎ		荳科	洋傘ノ手元、洋杖トス		静岡、奈良
	ふぢ		同	木皿ヲ製ス	乾燥シ用ウ	岐阜
	めぎ		同	「スリコギ」ヲ製ス		秋田
	はくさんぼく	やまてらし	小麩科	筆軸トス	乾燥シ用ウ	千葉
	くさぎ		同	垣ニ用ウ	乾燥シテ用ウ	廣島
	しきぢ		同	檜トス	同	埼玉、千葉
	つらふぢ		防已科	筒、土瓶ノ提梁、土瓶敷、結東用トス	同	青森、秋田

(幹、根の部)

二竹之部

種別	種別名	種別稱	方言	科名	効用	調製法	産地
一葉	くまざ	ねまがりだけ だいさんちく やだけ		禾本科	餅包用トス 屋根葺用トス 豆腐ヲ焼クニ用ウ 餅包用トス 屋根葺用トス 食物ノ包用トス	莖ト共ニ用ウ 同 同 同 其儘用ウ	本州 岡山 青森、岩手、宮城 長崎
二籜	こさんちく やだけ もうそうちく	しのたけ		同 同 同	草履原料トス 草履原料又ハ包装用トス 草履原料又ハ食物ヲ包ムニ用ウ	日干トシテ用ウ 同 同 乾燥シ用ウ	沖繩 岩手 埼玉、關西、千葉 關西、關西、關西 關西、關西、關西 關西、關西、關西 關西、關西、關西 關西、關西、關西
三枝	もうそうちく はちく			同 同	葎ヲ製ス 葎、竹垣トス	同 東子テ用ウ	宮城、京都、奈良 埼玉、富山、奈良 京都、富山、奈良 島根、廣島

(葉、籜、枝、幹の部)

種別	種別名	種別稱	方言	科名	効用	調製法	産地
八根	あかまつ くろまつ のぶのき くぬぎ はまなす さるとりいはら	めまつ		松科 胡桃科 同 同 同 同	松根油ヲ採ル (製薬、顔料トス) 漁業夜焚又ハ民家ノ燈火用トス 効用あかまつニ同シ 茶色ノ染料トス 魚網ノ染料又ハ防腐劑トス 染料トス	堀リ取り乾溜ス 不全炭化法ニヨル	高知 岩手、關東、關西 山陰、山陽、九州 和歌山、福島、高知 愛媛 青森、岩手、愛媛 大分 山形、新潟 岐阜、滋賀、愛知 北陸、和歌山、畿内 山陰、山陽 香川 新潟 青森、秋田 長崎
ざくろ	じやくろ	さんきらい		安石榴科 驅虫劑トス		乾燥シテ用フ 粉碎シテ用ウ	和歌山

種別	名稱	方言	科名	効用	調製法	産地
四幹	まただけ		禾本科	籐、竹垣トス	東ネテ用ウ	富山、京都、奈良、島根、四國
	くまざ		同	箕、籠、笥ヲ製ス	長サ四、五尺ニ切り用ウ	青森
	はこねだけ		同	煙管、杖、筆軸、ペン軸トス	加工シテ用ウ	静岡
	もうそうちく		同	籐壁下ニ用ウ	同	岩手、宮城、埼玉
	はちく		同	家具ヲ製ス	同	富山、静岡、山梨
	しやこたんちく		同	錦機ニ用ウ	同	京都、四國
	まただけ		同	建築、竹材工藝用トス	同	埼玉、静岡、山梨
	ほていちく		同	繩ヲ製ス	若竹ヲ薄ク削リ用ウ	富山、滋賀、京都
	くろちく		同	煙管ニ用ウ	同	秋田
	やだけ		同	建築、竹材工藝用トス	同	静岡、富山、京都
	めだけ		同	釣竿又杖トス	火ニ燻リ油ヲ去リ用ウ	廣島、奈良、山梨
	おかめざ	ぶんござ、びんぼざ	同	竹細工トス		埼玉、静岡、四國
	なりひらたけ		同	建築、竹材工藝用トス		廣島、京都、高知
	ねまがりだけ		同	行李、團扇ノ柄ヲ製ス		静岡、京都、高知
	すゝだけ		同	籠ヲ製ス		静岡、宮城、福島、千葉
			同	家具ヲ製ス		静岡
			同	籠ヲ製シ又稻干シ用トス		福井
			同	竹材工藝用、稻干シ用トス		青森、秋田、宮城

一 草本之部

種別	名稱	方言	科名	効用	調製法	産地
一花	むらさきつゆぐさ	ひめかや	鴨跖草科	藍色ノ繪具トス	蒸干シニシテ用ウ	青森、宮城、山口
	ぬまかや		禾本科	製紙用糞ヲ織ル	花梗ヲ用ウ	栃木
	からはなさ		桑科	ホップ代用トス	雌花ヲ乾シ用ウ	秋田
	りうなうぎく		菊科	香油原料トス	開花スル前ニ刈取り蒸餾ス	静岡
二子實	ほうづき	かなとうろう	茄科	女兒ノ玩具トス	乾燥シテ用ウ	富山、愛知、岐阜、滋賀、和歌山、北陸、山陰、山陽
	からすうり		胡蘆科	皮膚ヲ洗フニ用ウ	乾燥シテ用ウ	富山、京都
三葉	よし		禾本科	草履、袋ヲ製ス	水ニ浸シ乾燥シテ用ウ	青森、京都
	ちがや		同	袋其他編物トス	乾シ熱湯ニテ煎出ス	静岡、岐阜、北陸
	かりやす		同	黄色染料トス	乾シ熱湯ニテ煎出ス	静岡、岐阜、北陸
	すゝき		同	屋根ヲ葺キ又牛馬ノ飼料トス	乾燥シ又ハ其儘用ウ	福井、滋賀、京都
	たつのひげ		同	宴席ノ飾ニ用ウ	乾燥シテ用ウ	山形
	まごも		同	袋ヲ製ス	乾燥シテ用ウ	不詳
	こぶなぐさ		同	化粧用ノ蠟ヲ作ル	黒燒ニシテ用ウ	中國
	すゝがや		同	柿ノ澁抜キ用トス	澁柿ト共ニ桶ニ入ル	秋田
			同	産、繩ヲ製ス	乾シテ用ウ	秋田

(花、子實、葉の部)

種別	名	方	科名	効	用	調製法	産地
五皮	いあいち やまか らあ むさ	いづぶ(岩手)	錦葵科 茜草科 大戟科	火繩トス 染料トス 青色染料トス	日干ニシテ用ウ 煎汁ヲ用フ 葉ト共ニ用ウ	青森、岩手 新潟	
六根	かきつねかや かりかや すず	青茅	禾本科 錦葵科	たわし、ぶらしノ材料トス 牛馬ノ刷毛トス	水ニテ洗ヒ乾燥シ用ウ 乾シテ用ウ 乾燥シテ用ウ	群馬 静岡 香川 青森	
	あか せ そ		芭蕉科 同	製布原料トス 葛布原料トス 織物原料トス 繩又ハ糸ヲ製ス	粗皮ヲ用ウ 靱皮ヲ清水ニ漂洗シテ用フ 煮沸シ表皮ヲ去リ酒ラシテ用フ 纖維ヲ用ウ	秋田 鹿兒島 静岡 香川 青森	
	からむし		同	布ヲ製ス 越後縮、明石縮、越後上布、 奈良晒ハ此纖維ヲ以テ織レ ルモノナリ	纖維ヲ以テ細布ヲ織ル	北陸、中國	
	い ら く さ		同	麻ノ代用品トス 屋根茸用ニ供ス	同	秋田、富山、新潟 青森、秋田、山形	
	ま ぶ ま き		蕁麻科	繩、織物トス まを代用トス 疊系又布ヲ製ス	纖維ヲ採リ用ウ	京都 静岡 福島、佐賀	

ちがや	そめものいも	同	薯蕷科	赤餅ノ染料トス 「タウシ」ノ材料トス 小島ノ飼料トス	同 剉ミテ搾汁ヲ用ウ 蕁根ヲ用ウ	同 沖縄 中國
わうれん	のりくさ	毛茸科	虎耳草科	黄色ノ染料トス 製紙用トス	莖、根ヨリ汁ヲ取り煮テ用ウ 根皮ヲ剉ギテ用ウ	東北、中國、四國 愛媛
かたくり		百合科	葎草科	澱粉ヲ採ル 製紙原料トス	澱粉製法ニヨル 搗キ碎キテ用ウ	青森
あか		茜草科	胡蘆科	赤色染料トス 天花粉ヲ採ル	搾リ汁ヲ用ウ 澱粉ノ製法ニヨル	佐賀 青森、岩手、山梨 長崎 畿内、山陰、山陽
からすうり		荳科	糊料トス		澱粉ヲ採リテ製ス	關西、北陸、中國

二 蘚苔、羊齒、木賊、石松類之部

種別	名	稱	方	言	科名	効	用	調	製	法	産	地
一葉	みづ	ごけ			蘚苔類	苗木ノ根ノ乾燥ヲ防グニ用	盆栽ニ用ウ	乾燥シ又ハ其儘用ウ	四月下旬其鱗毛ヲ摘採シ乾	彈綿シ紡キテ製ス	秋田	長野、愛知
	ぜん	まい			藨科	鱗毛ヲ紫麻織ノ原料トス	防水ノ効アリ	枕ノ中ニ入レ用ウ	同	其儘用ウ	愛知、岐阜、滋賀	北陸、山陰
	うら	じろ	しだ		裏白科	正月ノ飾リニ用ウ	石松科	縁門其他裝飾ニ用ウ	同	乾燥シテ用ウ	青森、長野、福岡	長崎
二芽軸	と	く			木賊科	骨、角等ノ研磨用トス						
三莖	わ	ら			水龍骨科	箸ヲ製ス					京都	
	し	の			同	繩ニ纏ヒ用ウ					群馬	
	ふ	ぢ			同	籠製作用トス					愛媛、香川	
	う	ら			裏白科	器具用トス					滋賀	
	こ	し			同	細工用トス					静岡	
	こ	し			同	同					同	
	ぜ	ん			藨科	纖維ヲ採ル					佐賀	
	い	ま			卷柏科	繩、雨具ヲ製ス					群馬	
四根	わ	ら			水龍骨科	表具又ハ織物用繩ヲ採ル					栃木	
	わ	ら			同	結束用繩ヲ製ス					鳥根、九州、高知	

和名索引(特殊用途之部)

○や之部

やまあり	(莖)	二八
やまらん	(葉)	二六
やまさいかち	(幹)	二一
やまふだう	(皮)	一六
やまざくら	花	一七
やまなし	皮	一四
やまぐるま	皮	一四
やまも	皮	一一
やまうるし	皮	一一
やまつじ	(實)	二七
やまがき	(葉)	二八
やまはんのき	葉	二六
やなき	皮	一一
やしやぶし	皮	一一
やだけ	幹	二三
やぶまを	幹	二三
やぶにくけい	(皮)	二四
やまぐは	(葉)	一六
やまならし	(幹)	一八

○ま之部

まを	(皮)	二八
まこも	莖	二五
またゝび	(幹)	一九
まだけ	枝	二三
まかんば	皮	二四
まめがき	(實)	一一
まんじゆしやけ	(莖)	二二
まるばいばら	(葉)	二七
けやき	皮	二〇
ふち	皮	二四
ふちのした	莖	二一
ふな	皮	二二
ぶたう	皮	二二
ふくじゆ	(皮)	一五
こめつが	(皮)	一〇
こなら	(皮)	一〇
こりやなき	(幹)	一八

○え之部

こぶなくさ	莖	二五
こした	(莖)	二七
こふし	花	三〇
こさんちく	(實)	三一
ごんぜつ	(幹)	二三
こした	(莖)	二〇
ころろ	(根)	二九
あかう	皮	一三
あかてつ	皮	一六
あかね	根	二八
あかめかしは	莖	二五
あかそ	皮	二七
あかまつ	皮	二七
あか	根	一八
あかし	(皮)	二二
あけび	(莖)	二二
あせきり	(皮)	一六

○さ之部

あせき	(皮)	一五
あぶらきり	皮	一五
あぶらちやん	葉	一六
あだん	(葉)	一四
あなす	(葉)	一五
あへまき	(皮)	一五
あせび	(葉)	一七
あらがし	(幹)	一八
さいかち	皮	一四
さかき	枝	一三
ざくろ	皮	一七
さくら	根	二二
さはら	皮	一〇
さはぐるみ	皮	一一
さんくわ	(實)	一八
さるとりいばら	根	二八

○き之部

さんせう	新芽	一九
きしきし	(莖)	二七
きり	葉	一八
きふち	(實)	一八
きはだ	皮	一四
きつねがや	(根)	二八
ぎんばいさう	(根)	二九
ゆづりは	(葉)	七
めぎ	皮	一一
めうりのき	皮	一六
めだけ	(幹)	二四
みづごけ	(葉)	三〇
みつまた	(皮)	一七
みつばあけび	莖	一五

○し之部

しきみ	皮	二七
しだ	(莖)	一五
しろだも	(實)	三〇
しろもじ	(幹)	二一
しば	(莖)	二七
しやくなげ	皮	二七
しやりんばい	皮	二四
しやたんちく	(幹)	二一
しやうぶ	(葉)	二四
しなのき	皮	二六
しゆろ	皮	二〇
しらかんば	皮	一三
しらがし	皮	一一
しらくちつる	(莖)	一一
しひ	皮	一八
しきち	(幹)	一一
ゑこのき	皮	一一
ひかけのかづら	(葉)	三〇

326

94

終